

2024年度「BBCニュース」番組審議委員会 議事録

【開催日時】 2025年3月18日(火) 10:00~11:00

【開催場所】 霞山会館「祥鶴の間」会議室(東京都千代田区)

【出席委員】(敬称略) 審議委員総数 7名 出席 7名

委員長 豊田 沖人 (外国文学翻訳士・元 NHK 海外放送 英語アナウンサー)

委員 Marsha Krakower マーシャ・クラックワー (聖心女子大学 英語文化コミュニケーション学科名誉教授)

委員 しばはら きなえ 柴原 早苗 (放送通訳者・大学講師)

委員 ふじむら あつお 藤村 厚夫 (スマートニュース株式会社 フェロー)

委員 みやかわ みちこ 宮川 倫子 (倫総合法律事務所 代表弁護士)

委員 もりた あきら 森田 彰 (早稲田大学 商学部教授)

委員 もりよし なおこ 森吉 直子 (慶應義塾大学 商学部教授)

【衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワテン】

- ふくだ いづみ 1. 福田 泉 (代表取締役社長)
- なかぐち ひろたけ 2. 中口 裕丈 (編成局長)

【番組供給事業者：BBC スタジオジャパン株式会社】

- あいかわ こうたろう 1. 相川 浩太郎 (代表取締役 マネージングダイレクター)
- みやこだ ともち 2. 都田 智子 (シニア サービスディベロップメント&デリバリー マネージャー)
- たぐち ひでみ 3. 田口 日出美 (オフィス マネージャー)
- ひらばやし みか 4. 平林 みか (ディストリビューション セールス マネージャー)
- ふじまき みく 5. 藤崎 美来 (マーケティング エグゼクティブ)
- あおき まなぶ 6. 青木 学 (ディストリビューション セールス エグゼクティブ)

1. BBCからの報告事項

- 2024年にBBCのシンガポールスタジオのチーフプレゼンターとして、スティーブ・ライが就任し、アジア地域の朝の主要番組「ニュース・デイ」などのキャスターを務めたほか、2024年1月の台湾総裁選、10月の日本の衆議院選挙、2025年1月の韓国大統領の弾劾決議など、重要なニュースイベントについては、現地からレポートをお届けしたことを報告した。
- 午前の毎時30分から放送していた「アジアビジネスレポート」と午後の「ワールドビジネスレポート」を1本に集約し、新番組「ビジネストゥデイ」をスタート。
- 2024年の報道内容の中で、日本の視聴者から特に高い関心を寄せられたトピックとしては、ジャニー喜多川氏の性加害に関するドキュメンタリー番組の続編(3月)をはじめ、英国総選挙特番(7月)、トラン

プ米大統領候補（当時）の暗殺未遂事件（7月）、アメリカ大統領選挙特番（11月）、韓国のユン大統領による非常戒厳令（12月）等があった。

2. 番組審議

■ 審議番組

『世界最高の鉄道旅行 日本の新ゴールデンルート編』

“World's Greatest Train Journeys, Japan's New Golden Route”

2024年11月23日（土） 日本語字幕付き放送

<番組内容>

カーボンゼロの観点より、輸送機関として環境負荷が少ないという点で、今世界で注目されている鉄道旅行に関する新番組。地元の人々の足として親しまれている列車で旅をしながら、その地域の文化を紹介する。第一回放送では、新幹線開業60周年を迎えた日本を特集。BBCのポール・カーターが、東京から金沢を経由して大阪に向かう「新ゴールデンルート」を旅する。

<ご意見>

■ 番組内容について

・この番組は、エンターテインメントを重視したソフトニュースとしての役割を果たしている。一方で、リポーターは、この番組がインフォテインメントにならぬよう、そして押しつけがましくならぬように気を付けていた。Fast travel vs Slow travelの両面を、地図を使って効果的に説明していて分かりやすかった。地震被害や復興のシーンでは、日本人のResilienceを紹介しているのもよかった。

・日本のエチケットやその文化的な背景を説明する部分があるなど、BBCは訪問先を尊重して番組を制作していると感じた。

・日本の地理になじみのない視聴者に向けて、地図を使ったアニメーションが使われていて分かりやすかった。画面の切替が早く、30分番組とは思えないほどの情報量があった。ドローンを使ったショットも良かった。

・日本人の美德や規律、ホスピタリティが好意的に描写されていたが、一方で、たとえばオーバーツーリズムの問題や、障がい者の方々が、旅行中に実際に直面するであろう困難さへの言及がなされていないと感じた。

・ハンディキャップをもつレポーターが旅行や人生を楽しむ姿や、日本の若い世代の人々が伝統工芸を復興させようとする姿など、全体的にポジティブな、人を前向きにさせるメッセージが感じられた。それがメディアに求められる重要なバリューだと感じる。

・英国の視聴者にも見てもらえれば、日本に興味を持ってもらえるのではないか。英国での放映はあったのか？

<BBC回答> 英国でも、BBCニュース・チャンネル内で放映されました。

・番組の視聴率は良かったのか？番組に対するSNS上での反応や、具体的な視聴者のフィードバックが知りたい。

<BBC回答> 視聴率の数字はございませんが、出演者やBBCニュース・チャンネルのSNSでの番組告知等

の投稿には好意的な反応が多く見られました。コメントの内容から、日本旅行や新幹線への海外からの興味・関心がうかがえました。

・次回作が作られるのであれば、日本文化のさらなる深掘りや、独自の宗教観や価値観についての紹介も期待したい。

■ 出演者について

・ハンディキャップをもつポール・カーターをレポーターに起用したことは、ダイバーシティという観点でポジティブなメッセージを伝えている。彼が旅の中で接する人々の態度も自然で、好感がもてた。

・ポール・カーターの人柄が番組に出ており、彼の日本文化への尊敬、愛情が伝わった。

・ポール・カーターが切符を購入し使用する場面など、実際に旅をしている様子も見せてほしかった。苦労する場面もあったことと想像される。そういった部分も含めて、視聴者に紹介することは有意義だと思う。

・たまたまかもしれないが、出演されていた通訳ガイドの方が全員女性であった。日本は女性の地位が低いというイメージを持たれているので、女性が活躍している番組が放映されたのは良かった。

■ 日本語字幕について

・英語での会話についている日本語字幕では、オリジナルの英語音声を楽しめた一方で、情報量が限られており、発言内容の一部が抜けてしまっていると感じた。

<BBC 回答> 字幕の可読性の観点から、一度に画面に表示できる文字数を制限しているため、すべての言葉を訳すことは難しいのですが、ご意見を受け、字幕制作のクオリティ向上に努めてまいります。

■ その他

・番組を数分程度に短縮した動画を YouTube などで公開することで、視聴者層の拡大に期待できるのではないかと。教育目的にも適していると思うので、日本の子どもたちにも見てもらいたい。

2) その他の BBC ニュース・チャンネルに関するご意見

・去年の米大統領選を前に、7 月に東部ペンシルヴェニア州バトラーでの支援者集会でトランプ氏が銃撃された事件で、「ライフルを持った男が屋根の上に」と証言した BBC のインタビュー映像は目にしている方が多いと思う。あのようなレポートを行った BBC のジャーナリズムは素晴らしいと思った。

・BBC ニュースでは番組の最後に、QR コードなどで BBC のウェブサイトのリンクを示して関連情報や番組に誘導することがあるが、実際にアクセスすると、関連するページが分かりにくいことが多い。ウェブサイトを改善することで、より効果的に関連する情報を提供できるのではないかと。

・放送後の番組に対する視聴者の感想や意見を SNS などで収集すると、番組のクオリティが向上し、視聴者により深いつながりも築けると思う。

・日本語字幕を付ける番組と付けない番組はどのように判断しているのか。字幕に誤りがあった場合などは、次回放送から修正しているのか？

<BBC 回答> 日本語字幕については、作品の納品日から放送日までの期間中に、字幕の付与作業に必要な時間を確保できる場合に付与しています。前もって日本の視聴者のニーズが高いと思われる番組については、可能な限り、早めの納品を要請する場合がございます。初回放送後に字幕の誤りが判明した場合は、修正し、次回の放送から差し替えるようにしています。

以上